

大学院修了生代表挨拶

大学院の修了生を代表しまして、ご挨拶申し上げます。

本日は私も修了生の為に、このように盛大な式を催していただき、まことにありがとうございます。本日この良き日を迎えるにあたり、安部理事長・安東学長をはじめ、諸先生方、並びにご関係の皆様には格別なご厚情を賜りましたことを、修了生一同、心からお礼申し上げます。

振り返りますと、私は四年前の2019年3月に、この長崎国際大学の学士過程を卒業しました。その後、鹿児島県内の観光関連企業に就職し、社会人として多くのことを学びました。日々勤務していくなかで、もう一度観光学を、そしてホスピタリティについてより深く修学したいという気持ちが芽生え、二年前に大学院に入学しました。大学院でのこの2年間は、瞬く間に過ぎていきました。研究期間中は、戸惑いと不安もあり、何度となく涙を流したこともありました。また勉強と仕事との両立の難しさを感じ、挫折しそうになることもありました。そのなかで諸先生方の指導を受け、改めて大学のモットーである「いつも、人から。そして、心から。」を実感し、人としてのかかわり方を学び、本学の茶道文化教育による人間形成の重要性を再認識いたしました。私どもの些細な変化を敏感に感じ取り、優しく、親身なご指導いただきました先生方、苦しい思いを共にわかちあい、励まし合い、一緒に過ごした大学院の同輩には心から感謝しております。

私どもは、本学で学び、経験したことを活かし、広い視野を持って、研究で得た知識・技能を発揮し、お世話になった地域の皆様に貢献したいという思いを新たに、次のステージへと巣立ちます。本日までお見守りいただきありがとうございます。

最後になりますが、本日ご臨席賜りました皆様のますますのご健康とご多幸を、並びに長崎国際大学のさらなるご発展をお祈りしまして、感謝の言葉とさせていただきます。

令和三年 三月十三日

大学院修了生代表

人間社会学研究科 観光学専攻

久保 黛子